

## TOUR DE HOKKAIDO 2007 NEWS

第2ステージ 2007年9月13日発行

## 個人区間順位

順位	名前	チーム	タイム
1	西谷 泰治	愛三工業	1:43
2	宮澤 崇史	NIPPO梅丹	+0:00
3	パク スンベック	韓 国	+0:00
4	新城 幸也	NIPPO梅丹	+0:02
5	角 令央奈	鹿屋体育大学	+0:02
6	ヘンリ・ヴェルネル	ド イ ツ	+0:02

## 個人ポイント賞順位

順位	名前	チーム	ポイント
1	ヘンリ・ヴェルネル	ド イ ツ	30
2	パク スンベック	韓 国	24
3	宮澤 崇史	NIPPO梅丹	23
4	ミッCHEL・ドッカー	オーストラリア	21
5	西谷 泰治	愛三工業	18
6	飯 島 誠	プリチストン・アンカー	15

## 団体総合順位

順位	チーム名	タイム
1	NIPPO梅丹	7:52:06
2	シ マ ノ	+0:09
3	イ ラ ン	+0:16
4	オーストラリア	+0:23
5	ミ ヤ タ	+0:39
6	プリチストン・アンカー	+3:41

## 個人総合時間順位

順位	名前	チーム	タイム
1	ヘンリ・ヴェルネル	ド イ ツ	2:37:15
2	パク スンベック	韓 国	+0:02
3	ミッCHEL・ドッカー	オーストラリア	+0:03
4	西谷 泰治	愛三工業	+0:04
5	宮澤 崇史	NIPPO梅丹	+0:04
6	新城 幸也	NIPPO梅丹	+0:04

## 個人山岳賞順位

順位	名前	チーム	ポイント
1	土 井 雪 広	シ マ ノ	10
2	S. レザエイ・モスタファ	イ ラ ン	8
3	増 田 成 幸	ミ ヤ タ	6
4	ヘンリ・ヴェルネル	ド イ ツ	4
5	松 田 究	早稲田大学	3
6	新城 幸也	NIPPO梅丹	2

## テキストライブ配信中!

ツール・ド・北海道のレースの様子をテキストライブで配信中。携帯からも閲覧できます。



PC: <http://www.cyclingtime.com>  
携帯: <http://mobile.cyclingtime.com>



## 2nd Stage 昨年の覇者西谷泰治（愛三工業）が通算7勝目の勝利を挙げた

第2ステージは、岩内運動公園内の野球場と陸上競技場の周りを走る1.3kmの個人タイムトライアル。直線の少ないレイアウトで直角カーブも含まれるコース。午前中に第1ステージを終えた選手が1分間隔でスタートしていく。

第一走者は長江寿也（中央大学）。1分57秒82でゴールする。その後、12番目に登場した三船雅彦（マトリックス）が1分48秒75を出して暫定1位をキープ。しばらくこのタイムを破る選手は現れない。

第13回大会の個人総合優勝者、橋川健（マトリックス）が1分48秒76、第1ステージで落車し怪我を負った綾部勇成（愛三工業）が1分47秒86のタイムをたたき出し、暫定1位に躍り出たあとは、次々と1分48秒台の好タイムが出るものの1位は変わらず。



通算区間7勝目を挙げたディフェンディングチャンピオンの西谷泰治（愛三工業）

そして登場した日本チャンピオンの新城幸也（NIPPO梅丹）が1分45秒63を出し、綾部のタイムを上回る。角令央奈（鹿屋体育大学）は新城に100分の1秒差の1分45秒64でゴールする。タイムトライアル全日本チャンピオンの岡崎和也（NIPPO梅丹）のタイムは1分

46秒03で暫定3位に食い込む。

03年、04年度のプロログ優勝、昨年の覇者でもある西谷泰治（愛三工業）が1分43秒02でトップタイムを約2秒更新する。宮澤崇史（NIPPO梅丹）は1分43秒54、パク スンベック（韓国）が1分43秒67を出すも西谷に及ばず。第2ステージの優勝は西谷となった。西谷はこの大会のタイムトライアル3勝目、通算7勝目のステージ勝利となった。

2位は宮澤、3位パクまで1秒以内の差。4位新城、5位角、6位ヴェルネルまでも2秒差という結果になった。

最終走者、リーダージャージを着たヘンリ・ヴェルネル（ドイツ）は1分45秒75でゴールし、総合リーダージャージとポイント賞ジャージを確保した。

また5位に入った角も学生ながら、才能の片鱗をうかがわせる走りを見せた。

## Next Stage グリーンジャージを狙うチームがどんな攻撃を仕掛けるか

第1ステージで勝利を挙げたヘンリ・ヴェルネル（ドイツ）がタイムトライアルで、好走を見せて個人総合リーダーを守ったが、タイム差は縮まり上位争いは僅差の戦いになってきた。

タイムトライアルでトップタイムは予想通りディフェンディングチャンピオンの西谷泰治（愛三工業）が叩き出した。総合では4位に浮上。今年も好調ぶりをアピールした。

また NIPPO 梅丹勢も、宮澤崇史と新城幸也が総合5、6位につけてリーダージャージ獲得に向け、上々な位置につけている。

明日の第3ステージは、共和町から今

金町までの174.1km。スタート直後に新見峠を上り、その後、黒松内町・島牧村界の峠も越えるが、比較的平坦区間が多い。

タイム差が均衡しているだけに、数秒のタイム差が個人総合争いに影響を与えるため、2ヶ所あるホットスポットでのボーナスタイムも重要なポイントとなる。

また、残り30kmを切ってからある丘がポイントになりそう。ここでアドバンテージを得た選手が、数秒のタイム差をつけてゴールする可能性がある。

ヴェルネルは他のチームからの攻撃を退け、リーダージャージを守ることができるか。

総合上位に多くの選手がつけているチームは、序盤に大きな逃げを作れば面白い展開になることだろう。



個人総合リーダーを守ったヘンリ・ヴェルネル（ドイツ）。明日もグリーンジャージを守れるか



TOUR DE HOKKAIDO

<http://www.tour-de-hokkaido.or.jp>